

第3 令和7年度東郷町特別会計当初予算の概要

1 国民健康保険特別会計

(1) 予算編成の基本的な考え方

ア 少子化や、団塊の世代が75歳を迎え後期高齢者医療制度へ移行すること等により、被保険者は年々減少していますが、国民健康保険制度を将来にわたり、安定的で持続可能な社会保障制度としていくため、国民健康保険税率を見直し、適正かつ円滑な事業運営を図ることを主眼に編成しました。

イ 国民健康保険の加入者は、一般被保険者数6,024人、介護保険第2号被保険者数は、2,144人と推計しました。

(2) 予算の概要

国民健康保険特別会計の予算規模は35億2,804万5千円であり、令和6年度当初予算に比べて5,945万7千円、率にして1.7%の減となりました。

歳入の部 (単位：千円、%)

科 目	令和7年度		令和6年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 国民健康保険税	728,316	20.6	714,092	19.9	14,224	2.0
2 国庫支出金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
3 県支出金	2,487,549	70.5	2,486,787	69.3	762	0.0
4 財産収入	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5 繰入金	306,174	8.7	380,613	10.6	▲ 74,439	▲ 19.6
6 繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
7 諸収入	6,003	0.2	6,007	0.2	▲ 4	▲ 0.1
合 計	3,528,045	—	3,587,502	—	▲ 59,457	▲ 1.7

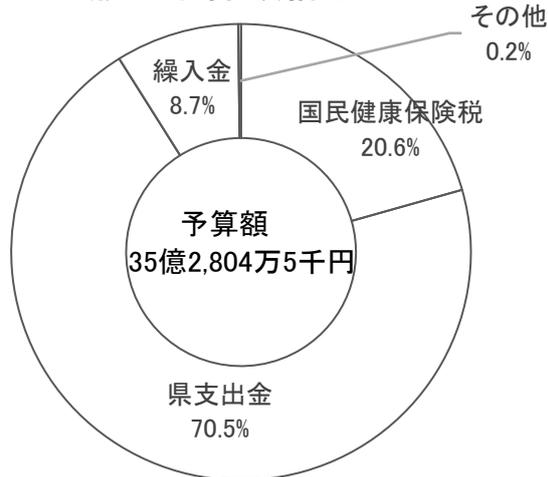
※ ▲は、減を示しています。

歳出の部 (単位：千円、%)

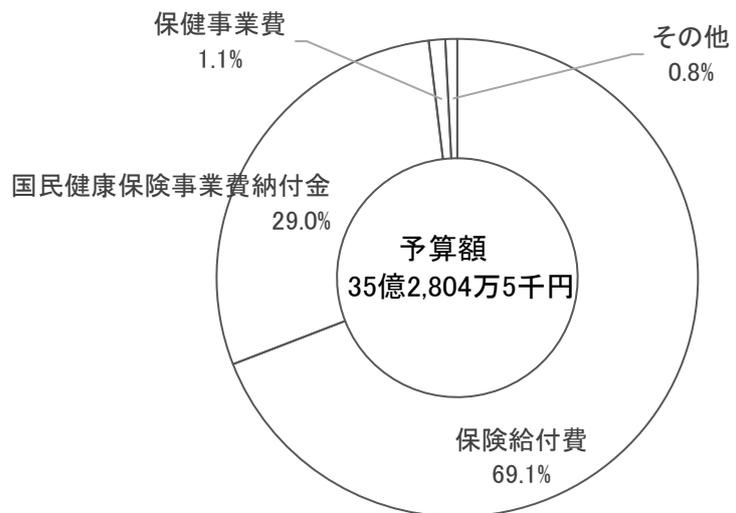
科 目	令和7年度		令和6年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 総務費	20,814	0.6	23,227	0.6	▲ 2,413	▲ 10.4
2 保険給付費	2,437,956	69.1	2,438,512	68.0	▲ 556	0.0
3 国民健康保険事業費納付金	1,023,178	29.0	1,076,849	30.0	▲ 53,671	▲ 5.0
4 保健事業費	38,034	1.1	40,851	1.1	▲ 2,817	▲ 6.9
5 基金積立金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
6 諸支出金	4,062	0.1	4,062	0.1	0	0.0
7 予備費	4,000	0.1	4,000	0.1	0	0.0
合 計	3,528,045	—	3,587,502	—	▲ 59,457	▲ 1.7

※ ▲は、減を示しています。

歳入予算額構成比



歳出予算額構成比



○増減額の主な理由

※構成比は、小数点第二位で四捨五入しているため、合計で整合が合わない場合があります。

<歳入>

- ・国民健康保険税
保険税率の見直しにより14,224千円の増額
- ・県支出金
県繰入金の増額、システム改修交付金の減額等により762千円の増額
- ・繰入金
その他一般会計繰入金の減額等により74,439千円の減額

<歳出>

- ・総務費
保険証の一斉更新費用の減額等により2,413千円の減額
- ・保険給付費
被保数の減少による療養給付費の減額等により556千円の減額
- ・国民健康保険事業費納付金
被保数の減少による医療給付費分納付金の減額等により53,671千円の減額
- ・保健事業費
特定健康診査等事業費の減額等により2,817千円の減額

2 国民健康保険東郷診療所特別会計

(1) 予算編成の基本的な考え方

安全できめ細やかな医療サービスを提供するとともに、施設及び医療機器の適正な維持管理を図り、東郷診療所の健全な経営のための経費削減を実施し、誰もが安心して医療が受けられる診療所を目指すことを主眼に編成しました。

(2) 予算の概要

国民健康保険東郷診療所特別会計の予算規模は、1億3,700万9千円であり、令和6年度当初予算に比べて323万5千円、率にして2.4%の増となります。

歳入の部

(単位：千円、%)

科 目	令和7年度		令和6年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 診療収入	110,538	80.7	119,399	89.3	▲ 8,861	▲ 7.4
2 使用料及び手数料	711	0.5	711	0.5	0	0.0
3 財産収入	2	0.0	2	0.0	0	0.0
4 繰入金	21,418	15.6	12,647	9.5	8,771	69.4
5 繰越金	500	0.4	500	0.4	0	0.0
6 諸収入	3,840	2.8	515	0.4	3,325	645.6
合 計	137,009	—	133,774	—	3,235	2.4

※ ▲は、減を示しています。

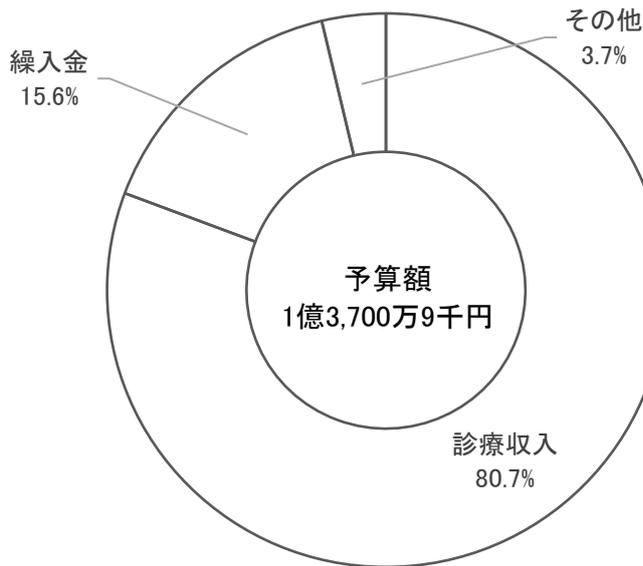
歳出の部

(単位：千円、%)

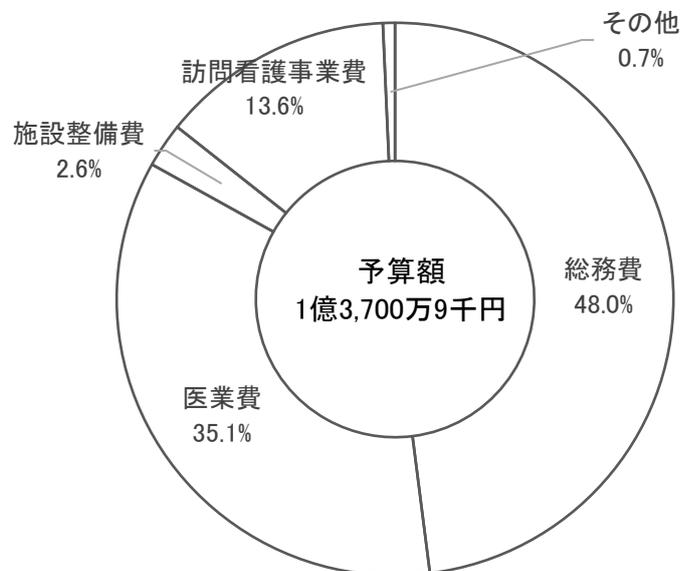
科 目	令和7年度		令和6年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 総務費	65,817	48.0	60,195	45.0	5,622	9.3
2 医業費	48,079	35.1	49,376	36.9	▲ 1,297	▲ 2.6
3 施設整備費	3,532	2.6	4,051	3.0	▲ 519	▲ 12.8
4 訪問看護事業費	18,580	13.6	19,151	14.3	▲ 571	▲ 3.0
5 諸支出金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
6 予備費	1,000	0.7	1,000	0.7	0	0.0
合 計	137,009	—	133,774	—	3,235	2.4

※ ▲は、減を示しています。

歳入予算額構成比



歳出予算額構成比



※構成比は、小数点第二位で四捨五入しているため、合計で整合が合わない場合があります。

○増減額の主な理由

<歳入>

- ・ 診療収入
保険診療等の減少により8,861千円の減額
- ・ 繰入金
財政調整基金繰入金の増額により8,771千円の増額

<歳出>

- ・ 総務費
光熱水費等の増加等により5,662千円の増額
- ・ 医業費
医療材料費等の減少等により1,297千円の減額

3 後期高齢者医療特別会計

(1) 予算編成の基本的な考え方

ア 75歳以上の高齢者における健康の保持と、適切な医療の確保を目的とし、保険料及び繰入金を財源として、後期高齢者医療事業の円滑な運営を図ることを主眼に編成しました。

なお、医療給付費事業については、愛知県後期高齢者医療広域連合により実施されるものです。

イ 後期高齢者医療の被保険者数は、6,550人と推計しました。

(2) 予算の概要

後期高齢者医療特別会計の予算規模は8億7,218万7千円であり、令和6年度当初予算に比べて8,109万5千円、率にして10.3%の増となりました。

歳入の部

(単位：千円、%)

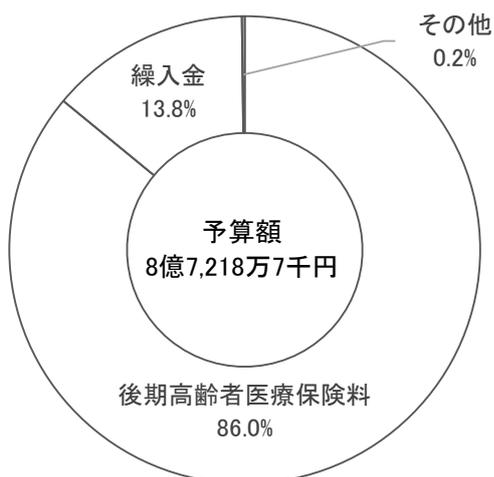
科 目	令和7年度		令和6年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 後期高齢者医療保険料	750,257	86.0	683,233	86.3	67,024	9.8
2 繰入金	120,924	13.8	106,853	13.5	14,071	13.2
3 諸収入	506	0.1	506	0.1	0	0.0
4 繰越金	500	0.1	500	0.1	0	0.0
合 計	872,187	—	791,092	—	81,095	10.3

歳出の部

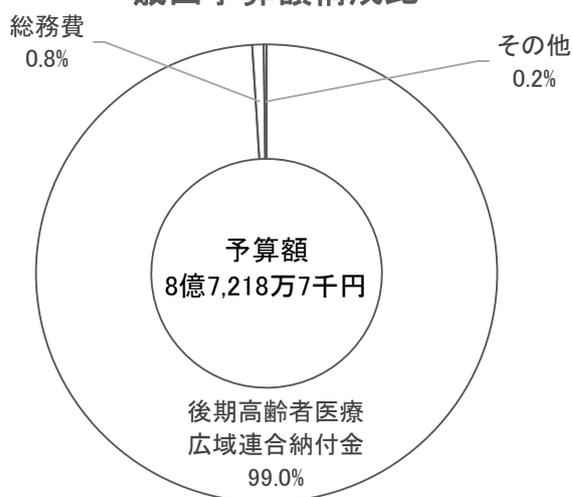
(単位：千円、%)

科 目	令和7年度		令和6年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 総務費	7,624	0.8	5,420	0.6	2,204	40.7
2 後期高齢者医療 広域連合納付金	863,557	99.0	784,666	99.2	78,891	10.1
3 諸支出金	506	0.1	506	0.1	0	0.0
4 予備費	500	0.1	500	0.1	0	0.0
合 計	872,187	—	791,092	—	81,095	10.3

歳入予算額構成比



歳出予算額構成比



※構成比は、小数点第二位で四捨五入しているため、合計で整合が合わない場合があります。

○増減額の主な理由

<歳入>

- ・後期高齢者医療保険料
被保険者の増加により67,024千円の増額
- ・繰入金
被保険者の増加により14,071千円の増額

<歳出>

- ・後期高齢者医療広域連合納付金
被保険者の増加により78,891千円の増額

4 介護保険特別会計

(1) 予算編成の基本的な考え方

ア 第9期高齢者福祉計画の中間年度にあたり、進捗状況を確認するとともに、基本目標である「健康づくりと介護予防の推進」を始め4つの基本目標を軸に地域包括ケアを支える体制の強化に取り組んでいきます。

また、第8期計画から引き継いだ基本理念である「いきいきと住み続けたい支え合いのまち とうごう」を目指すことを主眼に編成しました。

イ 介護保険の第1号被保険者は、年間平均被保険者数を10,114人、年間平均認定者数（第2号被保険者を含む。）を1,859人と推計しました。

(2) 予算の概要

介護保険特別会計の予算規模は29億7,720万6千円であり、令和6年度当初予算に比べて5,293万2千円、率にして1.8%の増となりました。

歳入の部

(単位：千円、%)

科 目	令和7年度		令和6年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 保険料	750,041	25.2	734,613	25.1	15,428	2.1
2 国庫支出金	559,355	18.8	556,028	19.0	3,327	0.6
3 支払基金交付金	741,831	24.9	738,757	25.3	3,074	0.4
4 県支出金	412,024	13.8	408,853	14.0	3,171	0.8
5 財産収入	1	0.0	1	0.0	0	0.0
6 繰入金	513,107	17.2	485,288	16.6	27,819	5.7
7 繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
8 諸収入	846	0.0	733	0.0	113	15.4
合 計	2,977,206	—	2,924,274	—	52,932	1.8

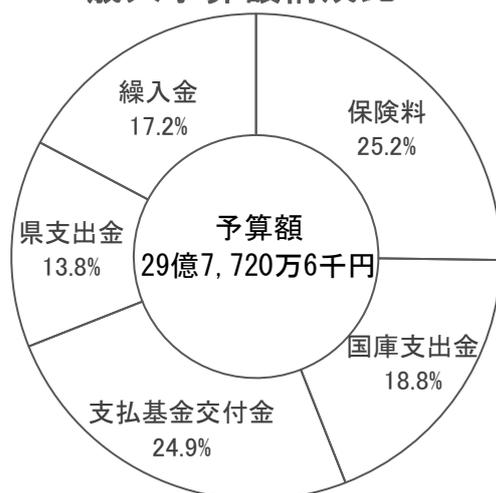
※ ▲は、減を示しています。

歳出の部

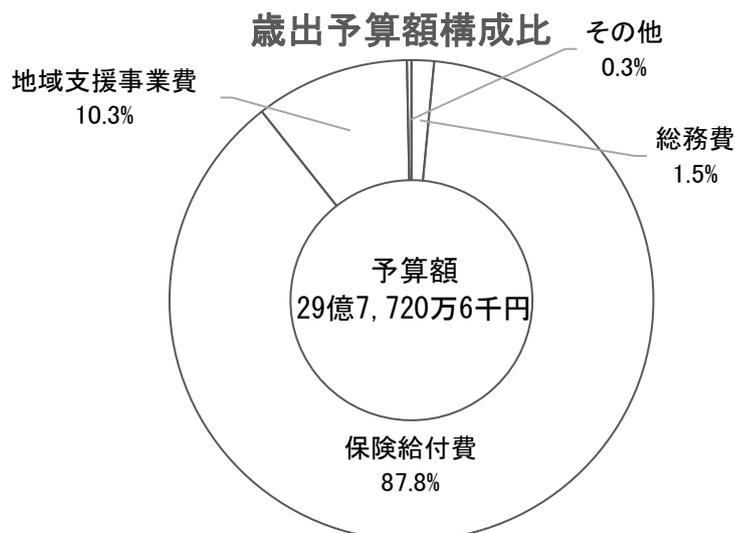
(単位：千円、%)

科 目	令和7年度		令和6年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 総務費	45,862	1.5	39,956	1.4	5,906	14.8
2 保険給付費	2,613,800	87.8	2,632,640	90.0	▲ 18,840	▲ 0.7
3 財政安定化基金拠出金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
4 基金積立金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5 地域支援事業費	306,736	10.3	241,170	8.2	65,566	27.2
6 諸支出金	806	0.0	506	0.0	300	59.3
7 予備費	10,000	0.3	10,000	0.3	0	0.0
合 計	2,977,206	—	2,924,274	—	52,932	1.8

歳入予算額構成比



歳出予算額構成比



※構成比は、小数点第二位で四捨五入しているため、合計で整合が合わない場合があります。

○増減額の主な理由

<歳入>

- ・保険料
被保険者数の増加により15,428千円の増額
- ・国庫支出金
介護給付費負担金の増額等により3,327千円の増額
- ・支払基金交付金
介護給付費交付金等の増額により3,074千円の増額
- ・県支出金
介護給付費負担金等の増額により3,171千円の増額
- ・繰入金
介護給付費準備基金繰入金の増額等により27,819千円の増額

<歳出>

- ・保険給付費
地域密着型介護サービス給付費等事業費の減額等により18,840千円の減額
- ・地域支援事業費
介護予防・生活支援サービス事業費等の増額により65,566千円の増額